

# 平成30年度 事業計画書

ケアハウス大慈

## 1. 《平成30年度法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

## 2. 《ケア理念》

「手から手へ 忠恕（真心）を込めて」

## 3. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、ご自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

## 4. 《最終目標》

### ●いきいきのびのびスマイリー運動

みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔

(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します)

- ・生きがい・やりがいを大切にします
- ・自分らしさを大切にします
- ・自然と笑顔溢れる温かい雰囲気を大切にします
- ・みんながしあわせになることを目指します

### ●中期目標

- ①ケアハウス大慈の理念や方向性を周知する
- ②ケアハウス大慈「らしさ」を共有し、みんなで作り上げていくという風土を作る
- ③スタッフが福祉職ということやケアハウス大慈に勤めていることに誇りを持つようになる

### ●平成30年度重点目標

- ①充足率の向上により安定した運営を行う
- ②スタッフの「満足感」を確立し、人材の確保に努める
- ③遠藤メソッドの推進

### ●課題・実践内容

前年度以降、事業所への営業、定期的に施設内見学会を実施する等、地域に向けて広報活動を行っており、昨年度と比較すると入居数は大きく向上している。反面、ゲストの重度化も進行しており、退去数が増加した事により充足率の向上には至っていない。入居の傾向として、在宅・病院から緊急的に入居されるケースが増加しており、今後、営業活動や見学時の対応、施設内での情報共有について強化していきたい。

今年、開設10年を迎えるに当たり、旧来の介護方法・手段にとらわれず培った経験やノウハウを仕組みにする事で事業の発展、地域の発展に寄与したい。

## 5. <部門別重点目標>

### <ケア部門>

#### ①「遠藤メソッド」の推進

- A) 介護技術標準を使用した指導を行い、技術・ノウハウの伝承を行う
- B) 業務を見直し、簡素化・効率化を図る

#### ②余暇活動の充実

- A) ゲストの望む生活、行きたい場所、合いたい人等、個別の潜在的なニーズをアセスメントし、スタッフと共に実現する。年間で入居中の全てのゲストに対して実施する。
- B) ゲストのニーズに応じた、幅広いクラブ活動を行う。クラブ活動を通してケアハウスの生活が楽しく、生きがいと感じられるよう継続性を持って実行していく。

#### ③チーム力強化（10年後も笑って話せる仲間作り）

- A) 全てのスタッフとの面談を定期的実施し、価値観の共有、一人一人のキャリアプランの醸成を目指す。

### <経営部門>

#### ①在園率90%以上、在籍率93%を維持する

- A) 施設見学会を定期的開催し、施設の知名度を上げる。
- B) 相談員だけでなくフロアのリーダーも見学の際の説明ができるようにし、突発的な見学に対応をする。
- C) チームを組み、各居宅介護支援事業所・病院等に定期的営業に伺う。
- D) 入院者が必要最小限の入院期間で退院できるよう、病院と連携し情報の交換に努める。

#### ②人材確保と育成

- A) 老人部門全体で協力し、求人媒体の利用や学校訪問等を実施し人材確保に務める。

### <栄養科>

‘自分だったら’と考えられる厨房になる

#### ①おいしく、笑顔になれる食事の提供

- A) 食材をきざむことなく、常食・ソフト食・スルー食・ミキサー食（ゼリー）すべての方が、何を食べているのかが分かり、食べたいと思える食事の提供を継続する
- B) 配膳方法を見直し、食事をより美味しく召し上がって頂けるような提供を行う（別盛りの食事も添えが冷たいときは冷たく、温かいときは温かく適した温度で召し上がって頂けるよう検討する）

#### ②食事や食事行事について、チェリッシュ委員会や担当者会議にて、スタッフ同士の意見交換がスムーズに行えることで美味しい食事の提供を行う。

- A) ゲストの満足度を調査し（年2回）、おいしい又は満足と答えて下さる方を全体の75%以上を目標とする
- B) 行事食の見直し、新メニューの考案により満足度を高める

#### ③栄養面を考えた食事の提供とサポート方法の提案

- A) ミールラウンドによる栄養面や安全面を考えた食事の提供とサポート方法の提案を行う
- B) 食事サポート方法や嚥下についてチェリッシュ委員を中心に研修会を開催する
- C) 今のケアハウス大慈に合った食事形態に作り替える
- D) 献立作成の見直し（提供する食事を見直し、カロリー等の栄養素、提供量の検討をする）

### <看護部>

‘自分らしく生きる’を支える

①笑顔で生活することを支える

A) ゲストの不安やニーズを把握し安心できるようケアを行う

②健康であることを支える

A) 健康診断を1年に1回行い健康状態を把握する

B) 肺炎予防、尿路感染症予防、褥瘡予防、脱水予防、廃用症候群予防に取り組む

C) 症状出現時は大慈診療所や外部提携病院等と連携し対応する

③満足できる最期を迎えることができるよう、ゲストとご家族を支える

A) ゲスト、ご家族の気持ちや意向を受け入れ、ゲスト、ご家族、介護スタッフ、医師、看護職員間で情報を共有する

B) 看取り期の介護の質の向上のためにゲストの個別性に合わせたサポート方法を提案する

<年間業務>

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部X線、採血
6月	全職員定期検診	胸部X線、採血、検尿、検便、心電図、腰椎X線（介護職員のみ）等
10月	全職員	インフルエンザ予防接種
11月	ゲスト	インフルエンザ予防接種
	ゲスト・介護職員定期検診	採血
随時	雇入時健診	胸部X線、採血

<週間診療表>

曜日	午前 午後	診療科目	頻度
月	午前・午後	内科	毎週
火	午前・午後	内科	毎週
	午後	精神科	毎週
水	午前	整形外科	毎週
	午後	皮膚科	月2回
		歯科	毎週往診
木	午前	内科	毎週
	午後	内科	毎週
金	午前	内科	毎週
	午後	内科	毎週
土	午前	内科	毎週

※眼科・耳鼻科等は、外部へ随時受診。

※外部主治医往診可能

<理学療法科>

①機能訓練サービスの向上

A) 「個別機能訓練」「集団リハビリ」「フロア体操」と3つの形で機能訓練を提供する

②ケアの質向上に資する取組の実施

A) 24時間×365日のケアを意識し、全てのサポートをゲスト・スタッフ双方にとって、優しいサポートとなるように修正・提案する。

・ゲストの褥瘡・傷形成予防の観点から、不適切なサポート方法を見直す。

・ゲストの二次障害予防の観点から、ゲスト自身の力を生かせるサポート方法を提案する。

B) 福祉用具の使用促進や生活環境の調整を現場と行っていく

- ・福祉用具の積極的な活用
- ・ゲストにとって動き易い生活環境の調整

③スタッフの介護負担感軽減に対する取組の実施

- A) 職員の腰痛予防の為の研修や、サポート方法の修正を行う
- B) 負担軽減の為の福祉用具（スライドシート等）の導入を提案する

## 6. 《ケアハウス大慈の特徴》

### ○入浴

一般浴（大浴場・個浴）・特浴・中間浴をゲストの状態や好みによって、選択出来ます。入浴回数や時間についても、出来る限り希望に添えるようにします。（週2回以上）

### ○排泄

個々の状態にあわせた排泄サポートを検討し、出来るだけトイレを使用し自立支援を目指している。

### ○食事

リビングで食べて頂く事を基本とし、個々の状態に応じて治療食、ソフト食やスルー食等を提供する。ご自身のお箸やお茶碗、お湯呑みを使って頂くことやフロアのキッチンでご飯を炊くことで家庭に近い雰囲気を感じて頂ける様にしている。

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べて頂くためにおかずの盛り付けもフロアのキッチンで行っている。陶器の食器を使用し、味だけではなく見た目も大切にしている。

### ○生きがい作り

お誕生日のお祝いには、プレゼントを用意し、職員と外出する機会を持つ等、個々の希望に合わせて行っている

畑と一緒に収穫した野菜を、レストランやバイキングでの行事食で提供している

にぎり寿司パーティーを年に1回行っている

気候の良い時期には、外出行事を企画する

ミュージックセラピー・フラワーセラピー・リハビリ体操を実施している

お祭りにご家族も招待し、一緒に楽しんでいただいている

### ○その他

レストランや美容室の設備が充実しています。

生きがいデイサービスの場として、地域の方にレストランを提供している。

職員配置は、ゲスト2名に対して職員1名とし、ユニットケアを行っている。

## 7. 《職員会議》

頻度	会議名			
毎月1回	法人運営会議	大慈な会議	事務部会	会計会議
随時	ケアカンファレンス			

## 8. 《衛生》

害虫駆除（年2回）・寝具交換（週1回）

## 9. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し、随時受け付け口頭・書面で上司に報告し敏速な対応を行う。

## 10. 《委員会活動》

内 容	
委員会名	チェリッシュ委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	ケアハウス大慈の食事をより良いものにするを目的とし、料理教室やスナック等の行事を企画する。また、ゲストの体重や食事摂取量から、変化を発見し対応を検討する。

内 容	
委員会名	行事委員会
頻度・時間等	毎月第二水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	行事を企画、実行していく。大慈園広報委員会にも必要に応じて参加し、連携を図る。

内 容	
委員会名	災害・設備委員会
頻度・時間等	偶数月第一金曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	非常災害時に対する防災意識の向上や警戒発令時の迅速な対応等、総合的な推進を図り、被害を軽減する。また委員が、大慈園の非常災害時対策委員会にも参加し災害に対して連携が図れるようにする。 施設設備の保守に関する問題点や改善案を話し合い、実施する。 A) 避難訓練消火訓練の実施(月1回) B) 消火器、自動火災通報装置の使用方法等、防災教育の実施

内 容	
委員会名	感染症防止対策委員会・エコ節約委員会
頻度・時間等	毎月第一火曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	感染症・食中毒の予防まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの作成や見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。 節電・節水を実施し、エコロジーな施設を目指すと共に無駄を無くし節約に取り組む。

内 容	
委員会名	トレーニング委員会
頻度・時間等	毎月第二月曜日 16時15分～17時00分
目的・内容	介護スタッフの技術・知識向上を目的に、多職種で様々な観点からOJT・OFF-JT内容を考案、実施する。

内 容	
委員会名	RM委員会
頻度・時間等	毎月第二木曜日 16時15分～17時15分
目的・内容	事故報告書の検討・ドキドキ報告書を基に再発防止の対応を検討し、実施する。また定期的にマニュアルの見直しを行う。

内 容	
委員会名	サービス向上委員会
頻度・時間等	毎月第三木曜日 16時15分～17時15分
目的・内容	ゲストに対してのサービスの向上を目的としており、その為に実践する方法を提案する。

内 容	
委員会名	褥瘡検討委員会
頻度・時間等	毎月第三木曜日 17時00分～17時20分
目的・内容	ゲストの褥瘡の状況を把握し改善方法を検討する。

内 容	
委員会名	身体拘束廃止委員会
頻度・時間等	毎月第三木曜日 17時25分～17時45分
目的・内容	施設内において不適切なケアが行われていないか協議をする。

内 容	
委員会名	クラブ・レク委員会
頻度・時間等	毎月第三金曜日 16時15分～17時00分
目的・内容	ゲストの余暇活動について、内容の検討、準備等を行う。

内 容	
委員会名	入浴委員会
頻度・時間等	不定期 16時15分～17時45分
目的・内容	入浴のスケジュールや清掃、サポート等の入浴に関する全ての事を話し合い、より良い入浴を目指す。

内 容	
委員会名	排泄委員会
頻度・時間等	不定期 16時15分～17時45分
目的・内容	排泄について話し合い改善方法を提案・実施していく。

\*人事委員会・事業戦略・労働衛生・予算委員会については、大慈園と同じ

#### 11. 《月間行事》

行事	頻度	行事	頻度
音楽療法	毎月2回	衣料販売	隔月1回
大正琴	隔月1回	絵手紙	毎月1回
シルバー体操	毎週水曜日	フラワーセラピー	毎月1回
買い物ツアー	毎週木曜日	歌とお話の会	毎月1回
ギター演奏	隔月1回		

1 2. 《年間行事》

月	行事	月	行事
4月	お花見、ティータイム	10月	ティータイム、スナックちいちゃん、屋台風
5月	母の日、子供の日	11月	スナックちいちゃん
6月	父の日、ティータイム、スナックちいちゃん	12月	クリスマス会、餅つき、ティータイム
7月	七夕、オープン記念	1月	おせち、七草粥、鏡開き、
8月	ティータイム	2月	節分、バレンタインデー、ティータイム、スナックちいちゃん
9月	敬老の日、焼き芋、お祭り	3月	雛祭り、にぎり寿司

\*その他、おやつ作り・バイキング等の食事会・外出行事・外食行事をフロアごとに実施

1 3. 《避難訓練》

消防訓練・・・11月（日中想定）、3月（夜間想定）

地震訓練・・・8月

不審者訓練・・・6月

1 4. 《職員配置》

施設長	副施設長	生活相談員	介護支援 専門員	看護職員 (パート)	管理栄養士 (パート)
1名	1名	1名	2名	3(1)名	1(1)名
事務員	介護職員 (正職)	介護職員 (パート)	介護職員 (派遣職員)	機能回復 訓練士	運転手 調理師
2名	37名	11名	6名	1名	1名